



第4章 具体的な施策の展開

基本施策 I 自ら意欲的に学び、郷土を愛し創造する人づくり

推進の方向性 1 ライフステージに応じた学ぶ機会の充実

少子・高齢化、高度情報化、国際化など急激な社会の変化とともに、人々のライフスタイル・価値観・人生の指標などが多様化する中で、それぞれのライフステージに対応する学習機会の充実、市民の主体的参加による「まちづくり」など、学習活動や社会参加に対する要請はますます強くなっています。

市民一人ひとりの生涯に着目しても、就労や子育て、介護などライフステージに応じた個々の課題が生じます。このような様々な課題に対応しながら生活していくためには、絶えず新しい知識や技能を修得していくことが求められます。

一方、自由時間が増え、価値観やライフスタイルが多様化したこともあり、余暇の充実というニーズの高まりもあり、趣味やサークル活動を通じた生きがいづくりや、地域や団体活動等を通じた自己実現などの重要性も増えています。

その学びのニーズに対応し、学びを維持・継続していくためには、ライフステージに相応しい学習機会の充実が不可欠であり、行政・各種教育機関・民間の力を結集し、市民のニーズに応え、かつ、高い水準の学習が必要となります。

→ 施策の展開 01 子どもの健やかな発達や学びの支援

重点施策



乳幼児期は、基本的な生活習慣をはじめとした人間形成の基礎を培う非常に重要な時期のため、豊かな人間性を育むために子どもが学びに接する機会を充実するとともに、子育て中の方の家庭における教育力の向上や、不安や悩みを解消するための「親の成長」に向けた支援も重要となります。

そのため、0歳から学ぶ環境づくりとともに、きめ細かな相談体制や親同士が交流する場における学びを通じ、子育ての自信や対応能力を身に付けられるような学習機会の充実に努めます。

既存事業紹介



【赤ちゃん・絵本のとびら事業】

乳幼児期から本に親しんでもらうための生涯学習の取組として、市内の0歳児と保護者に絵本を配付する事業。

<具体的な取組>

- ・家庭の教育力向上に向けた相談体制・学習機会の充実
- ・乳幼児期から学びに親しむ0歳から学ぶ環境づくり
- ・学校・家庭・地域が一体となった子どもの読書活動の普及・啓発

→ 施策の展開 02 青少年の豊かな心を育む学びの支援

青少年期は学校教育や社会教育を通じ、豊かな人間性や社会性を身に付けるために様々な学習を積み重ね、成人としての基礎を築く時期のため、自ら主体的に学び、判断できる能力の育成とともに、少子・高齢化の進行に伴う様々な課題に対応できる、次代を担う人材を育成するための学びの充実も重要となります。

そのため、自主的に判断する能力、自立性、社会性の育成に向けた事業とともに、読書活動の推進や社会参加・社会貢献などに関する知識や意欲向上のためのキャリア教育、ボランティアの育成、地域活動の充実に努めます。

＜具体的な取組＞

- ・学校や団体、企業との連携による職業・職場体験などのキャリア教育の充実
- ・青少年活動のリーダー養成、団体活動、異年齢交流の促進
- ・青少年のボランティア育成と地域活動への参加促進
- ・出前講座、体験活動による学校教育の支援
- ・放課後や休日における学習機会の充実にに向けた公共施設の積極的な活用

重点施策 

→ 施策の展開 03 成人の学びの継続と学びなおしの支援

成人期は社会人として生活が安定し、個人の関心や年齢、体力に応じた活動が可能となる時期のため、主体的に活動できる学習環境の充実とともに、急速なグローバル化や情報通信技術の進展により、職業に必要な知識や技能等が高度化している現状からも、多様な学習ニーズに応えていくことが重要となります。

そのため、それぞれのライフスタイルに応じた多様な学びの機会とともに、職業上必要な技能を高めるための学習や、社会で生活する上での幅広い教養を身に付けるための学習など、時代の変化に対応する学びの提供に努めます。また、学びの継続とともに、スキルアップや転職、学びなおしの学習機会を提供するなど、それぞれの課題に対応できる学習機会の充実に努めます。

既存事業紹介



【再チャレンジ塾ナナカマド教室事業】
様々な理由により学齢期に就学できなかった方に、学びなおし機会を提供する生涯学習事業。

＜具体的な取組＞

- ・ライフスタイルや社会のニーズに合った講座の充実
- ・男女平等参画や女性の活躍推進に関する学習機会の充実
- ・スキルアップや転職、学びなおしの学習機会の提供



→ 施策の展開 04 セカンドライフを生きる力の育成に向けた学びの支援

長寿・超高齢社会を迎える現代においては、セカンドライフは自立した生活を送り、学びから喜びや誇りを感じながら生きがいを持って暮らすとともに、心身ともに健康に過ごすという健康寿命を延ばすという視点も含め、様々なニーズに対応した学ぶ機会の充実が必要となります。

そのため、ニーズの的確な把握に努めるとともに、再チャレンジのきっかけづくりや健康、生きがいを考える学習機会の提供、豊富な知識や技能を地域社会に生かす場の充実に努めます。また、この世代は健康維持や介護、家庭、地域からの孤立等の問題を抱える可能性があり、今後、社会全体での対応が必要となることも想定されることから、超高齢社会に関する理解を浸透させる取組など、学びの側面からの寄与にも努めます。

<具体的な取組>

- ・長生大学、健康や生きがいを考える学習機会の充実と支援
- ・高度化・多様化したニーズに応じた学習の充実
- ・長寿社会に向けた学びなおしや再チャレンジの充実・支援

→ 施策の展開 05 障がいのある方の心豊かな生活に向けた学びの支援

障がいの有無に関わらず、すべての人が自立しながら生きがいを持って活躍する社会を実現していくためには、個人の持つ能力を社会の中で発揮していくことが必要となります。障がいのある方においても、社会の担い手として活躍していく機会を充実していくためには、その能力の発揮に向けた学びの充実が必要となります。

そのため、様々な人との交流をきっかけとして社会に参加できるような活動への支援とともに、社会で生きる力となる知識・技能を学ぶ機会の充実や、心豊かな生活につながる教養・趣味・生活問題などの学習ニーズに応じた学び・交流の場の提供に努めます。

既存事業紹介



【障がい者パソコン教室事業】
障がい者に対する ICT 学習を支援するための生涯学習事業。

<具体的な取組>

- ・社会で能力を発揮できる知識・技能を育成する学習の充実と支援
- ・心豊かな生活の充実につながる学習機会・交流の場の充実

→ 施策の展開 06 すべての世代に対する学びの支援

現代における社会的課題は、急速な社会経済状況の変化に伴い、多様化・複雑化しており、学びを通してこれらに対応する能力を身に付けることは、生涯学習の重要な役割の一つであるとともに、すべての世代に共通する今日的課題を解決する講座などが求められています。また、地域や郷土で活躍する人材を育成するためには、地域や郷土について学ぶ機会の充実も必要となります。

そのため、時事にかなった学習内容の検討とともに、参加しやすい時間・場所の設定、年齢やニーズに応じた講座・教室や出前講座の充実に努めます。また、地域課題を解決していく力を身につけるため、地域や郷土で活躍する人材の育成に向けた講座など、様々な学びの機会の充実に努めます。

既存事業紹介



【文化財発見ツアー事業】
市内にある文化財を訪問し、文化財への興味、理解を深め、郷土の歴史及び郷土愛の意識を高めるための事業。

<具体的な取組>

- ・すべての世代に共通する今日的課題に関する各種学習機会の提供
- ・参加しやすい時間・場所、ニーズに応えた講座・教室や出前講座の充実
- ・郷土愛や地域課題解決の機運を醸成する苫小牧を学ぶ講座の充実

基本施策 II 相互に理解し支え合い、自己の力を発揮できるつながりづくり

推進の方向性 2 学んだ経験や成果を生かす活動の奨励と推進

これからの生涯学習活動は、個人の人生を豊かにすることはもちろんですが、「趣味や教養」を充足させるのみに留まらず、学んだ経験や成果を地域づくりやまちづくりに生かすことにより、社会全体の発展を実現する基盤となるものと期待されています。そのためには市民が身に付けた知識や技能を発揮する機会や、還元する仕組みを整備・充実するとともに、学んだ経験や成果を生かすことから、新たな学びが生まれ、創造や工夫につながるという「学びが循環する体制」づくりが望まれています。

これまで以上に市民が生涯にわたりあらゆる機会、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に発揮できる生涯学習社会の実現とともに、社会や地域の様々な課題を解決するための取組を進めていくことが必要となります。

→ 施策の展開 07 学習成果の発表機会の充実

学習成果の発表や教え伝える機会を充実することは、さらなる学習意欲の喚起や課題の発見につながるとともに、様々な場所で人々が集い共に学ぶことにより、学習をきっかけとした地域住民や関係者との交流を育み、地域コミュニティの醸成に大きく貢献します。

そのため、学習成果の発表や教授、共に学ぶ場、地域住民が自主的に行う講座などの活動をさらに促進させ、学び教えるというサイクルの充実に努めます。また、長年活動する団体や個人が活躍できる制度などにより、指導者の育成とともに、地域にある人的資源の発掘を進め、様々な機会・場所での人と人とのつながりづくりに寄与する場の充実に努めます。

＜具体的な取組＞

- ・地域づくりや学習意欲の向上につながる発表機会の充実
- ・市民・団体などの自主企画の講座・発表への支援
- ・地域の人材発掘と人と人のつながりを醸成する場の充実
- ・公共施設を活用した交流の場の充実

→ 施策の展開 08 人材を生かす場とセカンドライフ世代の活躍機会の充実

重点施策



生涯学習活動を長年続け、多くの知識や技能を持つ人材は潜在化していることから、それらの人を顕在化して登用することは、生涯学習の推進に大きく寄与します。

また、超高齢社会を迎えるにあたり、多くの知識や経験を持つセカンドライフ世代を登用することは、今後の地域活動やまちづくりに大きく寄与すると考えられ、これらの世代の活躍機会の充実は大変重要となります。

そのため、人材の積極的な発掘はもとより、豊富な経験や知識、技能を持つ世代の登用に重点を置いた機会の充実に努めます。また、地域のつながりが希薄化している現在において、子育て世代や高齢世代の世代間交流を進めるなどの取組は、相互理解を促進する効果があることから、地域コミュニティの再興に向けたつながりの強化に努めます。

既存事業紹介



【アウトリーチ推進事業】

小・中学校、保育園、町内会などの地域の方々や子どもたちのところに文化団体の講師を派遣する事業。

＜具体的な取組＞

- ・豊富な経験・知識・技能を持つセカンドライフ世代の活躍機会の充実
- ・世代間交流の促進による地域のつながりづくりの取組の強化
- ・地域とのつながりを創るコーディネート機能の強化と人材バンクの検討

→ 施策の展開 09 ボランティア活動の啓発と支援

自らが主体的に活動するボランティアが、生涯学習活動や地域・まちづくりなど様々な場面でその力を発揮していくことは、生涯学習の推進やまちづくり、地域コミュニティの形成に寄与するなど、まちの活力を高めることにもつながります。

そのため、一人ひとりの個性と能力を伸ばすための学習機会の充実はもとより、学習成果を生かす活動への参加啓発とともに、生涯学習関連のボランティア団体の活動支援と各種団体との協働事業を推進し、さまざまな分野におけるボランティア活躍の場の充実に努めます。

＜具体的な取組＞

- ・ボランティア活動の啓発と参加の機会の充実
- ・ボランティア団体活動の支援と協働事業の推進

推進の方向性 3 学習グループや生涯学習関連団体、企業等との連携

近年、市民への生涯学習機会の提供は、行政以外においても学習グループや生涯学習関連団体、企業などにより、主体的に進められる事業にも見ることができます。これら先導的な主体がお互いの特性を生かすとともに、連携することにより、市内公共施設や地域での学習機会が増えていくと考えられます。

また、生きがいや交流のあるまち、住み続けたい魅力あるまちを目指すためには、各種団体や企業等の活力や資源（人・情報・技術など）を、いかに地域コミュニティの形成に生かすかが重要な課題となっています。

市民の多様化・高度化する生涯学習ニーズに応じた学習機会の充実や地域コミュニティの形成に向け、行政単独の取組ではなく、各主体との有効な結びつき「つながり」を形成し、市民一丸となり取り組むことが重要となります。

→ 施策の展開 10 市民・団体・企業と行政の連携と融合

生涯学習の学びの提供は行政をはじめとし、生涯学習関連団体や企業などにより様々な場が設けられています。これらの主体がそれぞれの特性を生かし、役割分担しながら連携することにより、まちの様々な地域や施設において学習機会が増えるとともに、幅広い学習ニーズに応じた機会の提供が可能となります。

そのため、各種団体や企業との共催による事業の検討を進めるとともに、目的を共有できる活動については、パートナーシップ協定を結びさらなる事業の推進に努めるなど、各主体の特性を生かし、多くの学びの場の創出に努めます。

＜具体的な取組＞

- ・各種団体や企業等との共催による講座の充実
- ・パートナーシップ協定締結による事業の推進
- ・生涯学習に取り組む市民・団体への支援

→ 施策の展開 11 協働学習の推進

共に学び、学んだ成果を発表するなど、団体同士の協働学習が充実していくことは、人と人とのつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を育み、多様性を受け入れることにつながるとともに、地域コミュニティ形成の一助となります。また、新たな学びのきっかけともなります。

そのため、生涯学習団体が交流できる機会の充実を図るとともに、様々な人に共通するテーマの講演会などの開催を支援し、異なるジャンルの団体が一同に会する機会の充実に努めます。

既存事業紹介



【市民文化祭事業】

様々なジャンルの市民の生涯学習活動成果を発表する場。異なる団体の活動を知る機会や交流の場となる。

＜具体的な取組＞

- ・生涯学習関連団体間の連携推進に向けた交流機会の充実
- ・国際理解・相互理解の推進に向けた取組の支援
- ・各種団体が一同に会することができる講演会の充実と開催への支援

推進の方向性 4 地域・市民と密着した協働体制の充実

人と人とのつながりや地域の連帯意識の希薄化が進むなか、各地域においては協働・環境・福祉・安全・健康・教育などの様々な課題を抱えており、行政はもとより、住民自身が考え、改善を図ることが強く期待されています。また、東日本大震災以降、地域コミュニティの再構築に向けた意識が高まるという状況になっています。

その様な中で、公共施設や町内会館などを活用した学習活動は年々活発化しており、地域のボランティアが子どもの活動や学校の活動を支援する取組においては広がりを見せています。生涯学習は、学習成果を地域づくりやまちづくりに生かすことにより、社会全体の発展を実現する基盤となるものと期待されていることから、これらの活動をさらに充実させ活発化させるとともに、学んだ成果を地域で有効に生かすためのネットワークづくりなどが重要となってきます。

そのため、地域の「担い手」として住民が中心となり、自立と協働による活発な活動が展開され、学校・家庭・地域社会と密着した協働型社会の充実を進めることが重要となります。

→ 施策の展開 12 地域活性化や地域の学び、課題解決に向けた活動への支援

重点施策



生涯学習を通じて活力ある地域づくりを行うためには、町内会や企業、商店街、NPO、学校、PTA、子ども会など、地域社会の一員として役割を担っている団体などの活性化とともに、それらの地域資源を生かし、複雑化・多様化する地域課

題に対応していくことが重要です。また、それぞれの団体の良さを生かした連携とともに、課題解決のための学びの機会を充実させていくことが必要となります。

そのためには、地域の実情やニーズにあった学習機会とともに、地域づくりに関わるNPOやボランティア団体などと連携した学習プログラムの検討を進め、地域活動の活性化への支援と同時に、ニーズに即した学びの充実に努めます。

＜具体的な取組＞

- ・地域の学びや課題解決に関わる生涯学習活動の充実と支援
- ・地域の学習支援に取り組むNPOやボランティア団体の学習機会の充実
- ・市内各地域の会場における学習機会の充実

重点施策



→ 施策の展開 13 学校と地域社会の連携による子どもの学びの支援

家庭はもとより地域住民の多様な知識や経験を生かして子どもの学習に関わることは、子どもの教育環境を豊かにするとともに、学校や家庭以外の新しい関係の構築につながります。また、地域の人々が学校施設内で開催する講座などに参加することで、その学びをきっかけとした地域コミュニティの形成が期待されることもあります。

そのため、学校・地域社会の連携強化に向けた取組の検討とともに、学習指導や体験学習などにおける地域社会と学校が連携した事業の開催や、学校と地域を結ぶ活動の支援に努めます。

＜具体的な取組＞

- ・学校・地域社会の連携強化に向けた取組の検討
- ・地域社会と学校の連携事業の開催・支援
- ・学校支援ボランティア活動の支援

→ 施策の展開 14 まちづくりへの参加促進と市民参画プログラムづくり

各地域で抱える様々な社会的課題の解決に向けては、行政はもとより市民が主体的に考え改善を図ることや、社会の様々な場面で市民がまちづくりの主体として活躍していくことが必要であるとともに、生涯学習の推進や地域の活性化に寄与し、まち全体の活力を高めることにつながります。

そのため、地域活動の推進やその他課題に即した対応策を市民が自主的に学ぶとともに、プログラムをつくる活動への支援に努めます。

＜具体的な取組＞

- ・地域課題に即した学習プログラムの支援
- ・まちづくりや地域活動のボランティア養成の学習機会の充実
- ・学習成果を地域やまちづくりで活用する取組の支援

基本施策 III 活力を育み、ふれあいや語らいが深まる学びの環境づくり

推進の方向性 5 学習情報の充実とデジタル端末に対応した情報発信の強化

スマートフォン、タブレット、Wi-Fi 環境などの普及が急速に進み、誰でもどこでも情報を入手できるとともに、多様化・高度化する学習ニーズ、地域社会の多様な課題が増加する現代において、情報提供のあり方は、新たな学習意欲を創出する「きっかけ」において重要であり、そのあり方は大きな課題であるともいえます。

生涯学習に対する市民意識の醸成に向けた継続的な啓発はもとより、紙媒体による情報発信の見直しを進めるとともに、多様なデジタル端末に対応した情報発信の充実に取り組み、市民が生涯を通じて、学びたいときに必要なことを学ぶことができる豊かな生涯学習社会を目指し、情報発信の強化が必要です。また、施設間の連携強化・ネットワーク化、インターネットを活用した情報提供、ICT を活用した学習サポートの充実も重要となります。

→ 施策の展開 15 生涯学習の啓発と生涯学習情報の収集と発信

生涯学習は心豊かな生活や自己実現に寄与し、さらには地域やまちづくりなどの社会形成の基盤となるものであることから、その重要性の啓発に継続して取り組むとともに、生涯学習活動へのきっかけとしては、情報発信が果たす役割が大きいことを踏まえ、市民が気軽に情報を入手できる環境づくりが求められています。

そのため、すべての人が手に取り読んでもらえるような魅力ある情報紙づくりとともに、スマートフォン、タブレット端末などを日常的に活用するデジタル世代に対応した情報発信などにより、学びたいというニーズに即応できる環境の充実に努めます。

既存事業紹介



【ホームページでの情報発信】

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>において市の生涯学習情報を発信。

<具体的な取組>

- ・生涯学習意識の醸成に向けた継続的な啓発
- ・魅力ある情報紙へのリニューアルの検討
- ・デジタル端末環境に対応した情報発信の強化
- ・生涯学習指導者や団体等の情報収集と発信の強化

→ 施策の展開 16 情報の共有化による学習支援ネットワークの充実

市民の生涯学習へのニーズは趣味・教養をはじめとし、地域課題への対応など多岐多様な分野にわたります。これらに対して官民間問わず様々な団体から個々に情報発信をすることは、多様化するニーズに即応するには不十分といえます。

そのため、さまざまな主体から発信されている学習情報をテーマごとに組み合わせ、市民のニーズに応じて情報提供できるように、生涯学習関連団体のネットワーク充実に努めるとともに、情報の一元化やワンストップ化などの利便性の向上の取組により、迅速かつ適切な情報提供に努めます。

＜具体的な取組＞

- ・生涯学習関連団体の情報の共有化とネットワークの充実
- ・利便性の向上に向けた情報発信の検討

推進の方向性 6 生涯学習関連施設の活性化と高等教育機関の連携

高度情報化により手軽に情報を入手できる現代においては、高度で専門的な内容を求める学習ニーズや、施設の連携・協力による新企画の充実など、マンネリズムに陥らない取組が求められています。また、学習機会や情報の提供だけでなく、学習する方の悩みや問題の解決を図る学習相談体制においても、さらなる充実が求められています。

大学などの高等教育機関で実施している公開講座や社会人選抜・科目履修生制度などについては、環境が整備されているものの、まだ十分に浸透しておらず、今後連携を深めるとともに、機会の充実に向けた新たな連携の拡大を進めることが課題となっています。

このようなことから、生涯学習に関するトレンドを的確に捉えるとともに、市民の意見を広く収集し、学習ニーズを把握し、時代に対応した施設機能の見直しと高等教育機関との連携を進めることが必要となります。

→ 施策の展開 17 生涯学習関連施設機能の活性化と相談体制の充実

生涯学習関連施設は市民の学びのニーズに応えるとともに、多様化する学びを常に把握し、時代に合った環境を提供することが求められています。また、市民の多様な学びのサポートや環境を充実するにあたり、相談体制や職員の資質向上に向けた取組も重要となります。

そのため、これまでの講座や教室の充実はもとより、新しい取組や施設特性を生かした事業など、創意工夫により施設の活性化に努めるとともに、市民のさらなる施設活用に向けた情報の提供を検討します。また、多様化する市民ニーズに対応す

るため、職員の専門性の向上など、研修機会の充実を図り相談解決などのスキルアップに努めます。

＜具体的な取組＞

- ・時代の変化や市民ニーズを把握した生涯学習施設の運営と活性化
- ・生涯学習関連施設の利用向上に向けた取組の検討
- ・相談体制と指導体制の充実
- ・施設職員のスキルアップに向けた研修体制の充実

→ 施策の展開 18 高等教育機関の講座や教室との連携

市民の高度な学びのニーズや複雑化・多様化する地域課題の解決には、高等教育機関の有する高い知識・技能が求められています。また、一貫性や連続性のある学びを実現するためには、幼稚園、小・中学校、高等学校、生涯学習関連施設の連携はもとより、大学などの高等教育機関との連携による学びの提供が必要となります。

そのため、高等教育機関から提供される公開講座などの市民周知を強化するとともに、生涯学習関連施設における連携講座のさらなる充実と拡大を進め、高度な学びの環境創出に努めます。

＜具体的な取組＞

- ・高等教育機関の市民向け講座の周知強化
- ・高等教育機関との連携講座の充実